

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(4 枚のうち / 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	○一般・外国人・社会
試験科目	文化資源学		

問題 1

(1)大学院において自分自身が研究しようとする分野・テーマについて 500 字以内で簡潔に述べなさい。

(2)次の用語の中から4つ選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- ①年輪年代法 ②動物考古学 ③世界遺産条約(通称) ④ゴードン・チャイルド
⑤プロセス考古学 ⑥層位と層序 ⑦サッカー遺跡 ⑧タフォミー ⑨加曾利貝塚
⑩土器型式編年 ⑪形質人類学(自然人類学) ⑫共伴関係

(3)発掘された遺跡や遺物の保存・公開についてどうあるべきか具体的に述べなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	○一般・外国人・社会
試験科目	文化資源学		

問題 2 以下の文章を読み、(1)、(2)の設問に答えよ。

(David Reich, *Who we are and how we got here: ancient DNA and the new science of the human past*. New York: Pantheon Books, 2018, p.275, // 28-37, p. 276, // 1-24.)

(1) 文章の大意を述べた上で、考古学における科学分析について、具体的な研究例を挙げて説明せよ。

(2) 考古学とDNA分析の関係性と問題点について具体例を挙げて説明せよ。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち 3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	○一般・外国人・社会
試験科目	文化資源学		

問題 3

以下の文章を読み、その大意を述べた上で、仏教の持つ多様性と普遍性を、具体的な例を挙げて説明せよ。

(Paul Williams, *Mahāyāna Buddhism: The Doctrinal Foundations*. London: Routledge, 1989, p.1, // 3-23, p. 2, // 1-4.)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち4枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	○一般・外国人・社会
試験科目	文化資源学		

問題 4

日本文化の形成において、異なる文化が受容されるパターンと、その比較文化的意義を、具体的な例を挙げて述べよ。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 文化資源学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

（1）受験者が具体的にどのような資料をどのような方法で何を明らかにしたいのか、大学院博士前期課程への進学希望の理由について問う問題である。

（2）考古学、文化遺産学とその関連分野に関する専門的知識を問う問題

①年輪年代法：気象の変化に伴い、幅が広くなったり狭いまま経過する樹木の年輪成長の変化の仕方を利用する測定法。樹種による変化パターンは地域差が少なく、伐採年が明確なものを基準に、その「物差し」をつくり上げることができる。

②動物考古学：「動物考古学」とは、遺跡から出土する動物遺体（主に骨、歯、角、貝殻）から、人と動物の関係の歴史を考える考古学の一分野である。動物遺体を扱うが、研究の主体はあくまでも人間であり、動物に関連した過去の人間活動を復元することを目的としている。

③世界遺産条約（通称）：文化遺産および自然遺産が、衰亡という在来のみならず破壊や損傷といった新たな危険にさらされていることに留意し、これらの重要性を明記し、これらの保護を国際社会全体の任務としている。締約国には、全人類に普遍的な価値を持つ遺産の保護・保存における国際的援助体制の確立および将来の世代への伝達を義務付けている。また、世界遺産リストの作成や登録された遺産保護支援を行う世界遺産委員会の設置や、締約国からの拠出金や贈与などを資金とした世界遺産基金の設立を明記している。

④ゴードン・チャイルド：イギリスの考古学者。ヨーロッパ近代考古学初期の成果を集大成して、日本考古学にも多大な影響を与えた。その研究は考古資料の様式編年網を基礎にしつつ、時間的には農業革命から都市革命・産業革命に至る人類の発展の過程、空間的には西アジア起源の農耕や文明がヨーロッパ社会を変革していく過程について広く論じたことに特色がある。

⑤プロセス考古学：プロセス考古学の特色は、考古学的に捉えられる文化変化は、それがいかに、なぜ生まれたのかを解明しなければならない、つまりいろいろなプロセスが「なぜ」生じたのかを客観的・科学的に説明しなければならないとの考えを重視し、そのための研究法を開発したことにある。その基礎的なものとして、動物考古学や植物考古学による遺跡情報の多様化、すべての考古学資料の数量化、空間情報の重視などがある。

⑥層位と層序：層位は色・土質の違いなどから識別される地層の堆積序列。各地層に含まれる遺物の年代の序列（相対年代）を判定し、土壌の堆積環境を復元する手掛かりにもなる。一度堆積した状態がそのまま残されているか、その後に改変が加えられたかに注意しながら、考古学の研究に用いる。層序とは、地層が重なる順序のことである。

⑦サッカラ遺跡：エジプト最大の墓地遺跡の1つ。世界文化遺産にも登録されている。古代エジプトの首都だったメンフィスのネクロポリスで、多数のピラミッドがある。中でも有名なジェセル王の階段ピラミッドである。その他初期王朝時代から古王国時代のマスタバ墓、新王国時代の墓や末期王朝時代の動物墓地などが知られており、約3000年間の間墓地として発展した。

⑧タフォノミー：生物が死後に堆積物に取り込まれるまでの過程を調べる研究分野。その過程で死骸から何が失われ、どのようなノイズが付加されたかがわかれば、過去の生物やその生態の復元の精度が向上する。水流や波浪によって違う場所に住んでいた生き物が混じり合っていないか、違う時代に死んだ生き物の遺骸が堆積物中に住む動物によってかき混ぜられていないかなどの研究がタフォノミーに含まれる。貝殻や骨格などの硬組織は、化石として残りやすい。

⑨加曽利貝塚：千葉県千葉市にある縄文時代の貝塚および環状集落の遺跡。日本最大級の貝塚であり、学史上でも著名な標式遺跡としても知られる。北貝塚のE地点の土器は、縄文中期後半の加曽利E式、南貝塚のB地点の土器は、縄文後期後半の加曽利B式として編年の指標となる土器と位置づけられている。加曽利遺跡では約7000年前の住居跡が発見されているが、当時の貝塚は残されていない。巨大な貝塚が作られ始めたのは約5000年前の縄文中期である。加曽利北貝塚は縄文中期（約5000・4000年前）に作られたものである。縄文後期になると北貝塚は利用されなくなり、その南側に南貝塚が作られ始めた。加曽利南貝塚は縄文後期（約4000・3000年前）のもので、イヌの骨が人間とともに葬られていることが確認され、話題を呼んだ。

⑩土器型式編年：出土した土器を詳しく観察し、形や文様、大きさなどの特徴にまとめる分類を行った結果、分類された土器の特徴をもとに、古い特徴を持つ土器と新しい特徴を持つ土器に判別し、新旧関係を明らかにする作業。つまり、土器の形や特徴をもとに、土器を時間軸に基づいて配列する作業のことである。

⑪形質人類学（自然人類学）：先史時代、歴史時代そして現代の人間の骨格形態を研究する学問。主に発掘された霊長類や人類の化石を対象に、その形態を分析する。骨や歯の形態からその古人類の運動様式・食性・生殖・生活環境・社会構造などを明らかにする。

⑫共伴関係：考古学において、異なる種類ないしは性格の遺物が同じ遺構から一緒に出土することをいう。共伴資料、共伴遺物は、考古学上の編年、つまり遺物の年代的位置づけを行うのに貴重な資料となる。

（3）考古学の資料を文化遺産として保存・公開する際の考え方を問う問題である。

考古学やその関連分野を専門として研究するにあたって、単なる研究の対象としてではなく、文化遺産を保存し公開するという課題に直面することが想定される。そのような意味で、文化遺産の保存と公開についてどのような見識を持っているのかを問う問題を作成した。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 文化資源学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 3（出題意図）

大乘仏教の基本的図書のイントロダクションを読み、その大意を読み取ることで、英文読解力を確認する。さらに、筆者が取り上げている仏教の個別的あり方と、それと対比可能な普遍的あり方を具体的な例を通して説明することで、仏教を通文化的に見る視点を確認する。

問題 4（出題意図）

日本文化を形成するさまざまな外来的要素が、どのようなパターンで日本文化として受容されていたかを具体的な事例からあきらかにすることで、日本文化についての知識ととらえ方を確認する。さらに文化の受容と変容を比較文化的視点から体系化する能力の有無を検証する。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	心理学		

問1 次の実験論文の抜粋を読んで設問に答えなさい。

(1) 次の1から10のそれぞれの文章について、本文の内容に合致している場合は○を、合致しない場合は×を記入しなさい。解答用紙には問題番号が分かるように記入すること。

1. Cuing effect とは、我々が他人のしているものを好ましく思う現象である。
2. 本実験では、6つブロックがあったが、参加者が物体の好ましさを評定したのは最後のブロックだけであった。
3. 本実験では同じ物体が違う色で参加者に呈示されることがあった。
4. 実験に使われた顔は、参加者が今まで見たことのない人達の顔であった。
5. 参加者は、物体を工具かキッチン道具かを答える際、答えを口頭で実験者に伝えた。
6. Cuing effect があったかどうかは、参加者が物体を工具かキッチン道具かを答えた際の正答率を見ればわかる。
7. Table 1 の RT について、一致試行と不一致試行の違いは矢印条件では有意であったが視線条件では有意ではなかった。
8. Cuing effect は視線条件と矢印条件の両方で見られた。
9. 本研究の結果から、消費者が商品に好感を抱くような広告を作るには、顔が美しい人物が商品を見ているようにすることが重要だと著者は述べている。
10. もとから好感度が非常に高い、または低い物体に対しては視線の影響がない可能性がある」と著者は述べている。

(2) 実験条件としてなぜ arrow cue condition が設けられているのか説明しなさい。

(3) Object rating に関する各条件の結果はどのようなものであったか、Figure 2 から読み取って説明しなさい。

(4) 本研究では、congruent trials と incongruent trials しか設定されなかったが、本文の最後の段落で、著者は将来の研究では中性試行 (neutral trials) を作るとよいと提案している。中性試行を作ることによって何を明らかにできるのか説明しなさい。

(6 枚のうち 2 枚目)

(6 枚のうち 3 枚目)

(6 枚のうち 4 枚目)

(Bayliss, A.P., Paul, M.A., Cannon, P.R. et al. (2006). Gaze cuing and affective judgments of objects: I like what you look at. *Psychonomic Bulletin and Review*, 13, 1061-1066. に基づき作成)

問 2 以下の事例について、分析結果の解釈においてどのような問題があるか説明しなさい。ある先行研究では研究参加者 80 名が 2 条件の課題を行い、対応のある t 検定で比較した結果として条件間で有意な差が報告されていた。追試として、先行研究に則って同じ実験を参加者 12 名で実施した。先行研究と同様に対応のある t 検定で比較したところ、条件間で有意な差は認められなかった。統計的有意性において再現できなかったことから、先行研究の結果は偶然によって生じたものであり、信頼性がないと結論した。

問 3 以下から 3 つ選んで答えなさい。

- (1) 幼児期までのアタッチメント(attachment)スタイルと、青年期・成人期以降のアタッチメント(attachment)スタイルについて、関連や相違点を述べなさい。
- (2) 古典的条件づけにおける複数の条件刺激 (CS) 間の競合現象である阻止 (blocking) について説明しなさい。
- (3) 感情の発動について、事象に対する何らかの認知的評価が必要だとする立場と必要ではないとする立場の論争がある。感情のサブリミナルプライミングはこの論争に関わる。感情のサブリミナルプライミングの例を示し、プライミング効果が示された場合に、上記の論争にどのような意味を持つか説明しなさい。
- (4) 選択肢 X と選択肢 Y の好みについて石川県 300 人と富山県 200 人に調査を行ったところ以下の結果を得た。カイ二乗検定によって石川県と富山県の度数分布の比較を行う上で、(A) 帰無仮説はどのようなものになるか、(B) 帰無仮説が正しい場合の期待値として A~D に入る数値について、数値計算の考え方が分かるように説明しなさい。期待値は A, B, C, D が分かるように解答用紙に記入すること。

	選択肢 X	選択肢 Y
石川県	200 人 (期待値 A=)	100 人 (期待値 B=)
富山県	100 人 (期待値 C=)	100 人 (期待値 D=)

問 4 以下の用語から 8 つ選んで簡潔に説明しなさい。

- (1) 単純接触効果 (mere exposure effect)
- (2) ワーキングメモリ
- (3) 記憶の順向性干渉 (順向抑制) と逆向性干渉 (逆向抑制)
- (4) 心理・社会的モラトリアム
- (5) 構成概念妥当性
- (6) オペラント条件づけにおける負の強化
- (7) 遅延価値割引 (delay discounting)
- (8) 人間-状況論争 (person-situation controversy)
- (9) ブローカ失語

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題 解答例および出題意図

(5 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	心理学		

問1 次の実験論文の抜粋を読んで設問に答えなさい。

(1) 次の1から10のそれぞれの文章について、本文の内容に合致している場合は○を、合致しない場合は×を記入しなさい。解答用紙には問題番号が分かるように記入すること。

1. Cuing effect とは、我々が他人のしているものを好ましく思う現象である。×
2. 本実験では、6つブロックがあったが、参加者が物体の好ましさを評定したのは最後のブロックだけであった。○
3. 本実験では同じ物体が違う色で参加者に呈示されることがあった。○
4. 実験に使われた顔は、参加者が今まで見たことのない人達の顔であった。○
5. 参加者は、物体を工具かキッチン道具かを答える際、答えを口頭で実験者に伝えた。×
6. Cuing effect があったかどうかは、参加者が物体を工具かキッチン道具かを答えた際の正答率を見ればわかる。×
7. Table 1 の RT について、一致試行と不一致試行の違いは矢印条件では有意であったが視線条件では有意ではなかった。×
8. Cuing effect は視線条件と矢印条件の両方で見られた。○
9. 本研究の結果から、消費者が商品に好感を抱くような広告を作るには、顔が美しい人物が商品を見ているようにすることが重要だと著者は述べている。×
10. もとから好感度が非常に高い、または低い物体に対しては視線の影響がない可能性がある」と著者は述べている。○

(2) 実験条件としてなぜ arrow cue condition が設けられているのか説明しなさい。

物体の好感度を向上させるためには、人の目が物体を見ていないといけないのかどうかを確認するため。

(3) Object rating に関する各条件の結果はどのようなものであったか、Figure 2 から読み取って説明しなさい。

視線が向いていた方向にあった物体は視線と反対方向にあった物体よりも高い好感度を得たが、矢印が物体に向いていたかどうかは物体の好感度には影響しなかった。

(5 枚のうち 2 枚目)

(4) 本研究では、congruent trials と incongruent trials しか設定されなかったが、本文の最後の段落で、著者は将来の研究では中性試行 (neutral trials) を作るとよいと提案している。中性試行を作ることによって何を明らかにできるのか説明しなさい。

一致と不一致試行の相対的な違いだけでなく、中性試行と比較することで、視線がない状態と比べて一致試行の好感度が上がったのか、不一致の試行の好感度が下がったのかがわかる。

(Bayliss, A.P., Paul, M.A., Cannon, P.R. et al. (2006). Gaze cuing and affective judgments of objects: I like what you look at. *Psychonomic Bulletin and Review*, 13, 1061-1066. に基づき作成)

問 2 以下の事例について、分析結果の解釈においてどのような問題があるか説明しなさい。

ある先行研究では研究参加者 80 名が 2 条件の課題を行い、対応のある t 検定で比較した結果として条件間で有意な差が報告されていた。追試として、先行研究に則って同じ実験を参加者 12 名で実施した。先行研究と同様に対応のある t 検定で比較したところ、条件間で有意な差は認められなかった。統計的有意性において再現できなかったことから、先行研究の結果は偶然によって生じたものであり、信頼性がないと結論した。

(採点方針: 採点はサンプルサイズと検定力の関係を指摘しているか、本事例がそれを踏まえた結論ではないことに触れられているかが基準となる。) 先行研究と本事例の研究ではサンプルサイズが大きく異なる。一般的にサンプルサイズが大きいほど検定力が高まるため、先行研究の統計的検定の方が条件間の差異の有無を正しく検出できている可能性が高い。逆に本事例では先行研究と比してサンプルサイズがかなり小さいため本事例で行われた統計的検定の検定力は相対的に低い。それにも関わらず、先行研究と異なり条件間の差が有意にならなかったという検定結果が得られたことをもって、先行研究の結果が再現されず、信頼性が低いと結論づけている。これはサンプルサイズと検定力の関係を理解しないまま分析結果を解釈したと言える。

問 3 以下から 3 つ選んで答えなさい。

(1) 幼児期までのアタッチメント(attachment)スタイルと、青年期・成人期以降のアタッチメント(attachment)スタイルについて、関連や相違点を述べなさい。

(採点方針) エインズワースが示した幼児期の内的ワーキングモデルの類型が説明できているか。成人期においては、成人用愛着面接やなど成人期のアタッチメントスタイルの測定に言及できているか。幼児期のアタッチメントのありようは対人関係の原型としてその後の発達過程での対人関係に関わると考えられている一方、幼児期のアタッチメントスタイルがそのまま成人期にもちこされとは限らず、環境や経験の要因によって変化が見られることに言及できているか。

(2) 古典的条件づけにおける複数の条件刺激 (CS) 間の競合現象である阻止 (blocking) について説明しなさい。

2つの条件刺激 CS1 と CS2 があるとき、先に CS1 が無条件刺激 US と対提示されて十分な条件反応を喚起するようになった後で、CS1 と CS2 複合して US と対提示しても (CS1+CS2→US)、CS に対する条件づけが生じにくくなることを阻止またはブロッキングという。CS1 によって US が十分に予測可能であれば、後から追加された CS2 に対しては学習が生じないことを示す現象である。古典的条件づけが対提示された CS と US の単純な連合過程ではなく、生物にとって重要な事象である US を CS によって予測することに関する学習であることを示すものである。

(3) 感情の発動について、事象に対する何らかの認知的評価が必要だとする立場と必要ではないとする立場の論争がある。感情のサブリミナルプライミングはこの論争に関わる。感情のサブリミナルプライミングの例を示し、プライミング効果が示された場合に、上記の論争にどのような意味を持つか説明しなさい。

感情のサブリミナルプライミングでは感情を誘発する刺激 (顔表情など) を観察者が意識できないくらい短い時間提示し、その後、感情を誘発しない中性的な刺激 (文字や図形など) を提示する。観察者は中性刺激の好感度などを評価する。中性刺激の評価がプライムの感情価に基づいてなされれば、プライミング効果があったといえる。この場合、プライム刺激は意識されていないため認知的評価はされなかったにも関わらず、観察者は感情を感じていたことになる。よって論争においては感情の誘発に認知的評価が必要ないとする立場を支持する。

(4) 選択肢 X と選択肢 Y の好みについて石川県 300 人と富山県 200 人に調査を行ったところ以下の結果を得た。カイ二乗検定によって石川県と富山県の度数分布の比較を行う上で、(A) 帰無仮説はどのようなものになるか、(B) 帰無仮説が正しい場合の期待値として A~D に入る数値について、数値計算の考え方が分かるように説明しなさい。期待値は A, B, C, D が分かるように解答用紙に記入すること。

	選択肢 X	選択肢 Y
石川県	200 人 (期待値 A=)	100 人 (期待値 B=)
富山県	100 人 (期待値 C=)	100 人 (期待値 D=)

帰無仮説では、石川県と富山県で選択肢 X と選択肢 Y の好みに差はなく、観測値における 2 県の差は標本抽出の際の誤差によるものであると考える。全調査対象者 500 名について、60%に相当する 300 名が選択肢 X, 40%に相当する 200 名が選択肢 Y を選択している。したがって、帰無仮説によると、それぞれの県の調査対象者の 60%が選択肢 X を、40%が選択肢 Y を選択することが期待値となる。したがって、期待値 A=180, 期待値 B=120, 期待値 C=120, 期待値 D=80 となる。

問 4 以下の用語から 8 つ選んで簡潔に説明しなさい。

(1) 単純接触効果 (mere exposure effect)

ある刺激を繰り返し提示されると、そうでない刺激よりも好意を抱くようになること。繰り返し提示されることにより、その刺激に対する知覚的流暢性が増し、それがポジティブな感情を生み出すと考えられている。

(2) ワーキングメモリ

短期記憶と長期記憶という 2 段階モデルの短期記憶に相当し、視空間情報を保持する下位システムである視空間スケッチパッドと音韻的情報を保持する下位システムである音韻ループを中央実行系が制御することや、中央実行系が処理資源の配分を行うことなどがモデル化されている。

(3) 記憶の順向性干渉 (順向抑制) と逆向性干渉 (逆向抑制)

ある事項に関する記憶 A によって、それよりも後に経験した事項に関する記憶 B の想起が難しくなる現象を順向性干渉と言う。これに対し、ある事項に関する記憶 A が、それよりも後に経験した事項に関する記憶 B によって干渉を受け、想起が難しくなる現象を逆向性干渉と言う。

(4) 心理・社会的モラトリアム

青年期を、アイデンティティ形成の途上で、心理的、社会的に成人となるまでの責任を猶予された期間であるとして、経済用語の「支払い猶予」の意味から転用された用語である。またマーシャは、自分にふさわしい役割・職業・理想・イデオロギーを模索、試行する危機と、自己定義を実現し自己を確認するための独自の目標や対象への努力の傾注である積極的関与 (コミットメント) の有無から青年のアイデンティティに向けた状態を 4 つの地位 (ステイタス) に類型化し、このうち危機を経験しつつも積極的関与のない青年をモラトリアム地位に分類した。

(5) 構成概念妥当性

心理尺度の妥当性概念の一つで、作成された心理尺度と、その尺度が測ろうとしている構成概念から理論的に推定される事柄が一致していることをもって尺度の妥当性を確認すること。異なる構成概念が想定される尺度が、因子分析の結果そのような因子が得られることによる因子的妥当性、理論的に異なる構成概念間で相関関係が見られないことによる弁別的妥当性、同一の構成概念を別の指標で測った場合や、理論的に関連する変数同士の相関が高いことによる収束的妥当性などが含まれる。

(6) オペラント条件づけにおける負の強化

オペラント条件づけにおいて、個体の反応に伴って嫌悪刺激が除去される手続きを負の強化と言い、反応の生起確率・頻度を増加させる効果を持つ。オペラント反応によって不快刺激が停止される逃避学習や不快刺激を事前に回避できる回避学習は負の強化手続きによる学習である。

(7) 遅延価値割引 (delay discounting)

時間的に遅延して提示される報酬の主観的価値が、即時報酬に比べて低下すること。報酬が得られるまでの時間的遅延によって報酬を獲得できないリスクが生じることで主観的価値が低下すると考えられている。

(8) 人間-状況論争 (person-situation controversy)

伝統的なパーソナリティ観においては、個人の中に潜在的・内的属性としての「特性」を認め、それによってある程度一貫した個人の行動が規定されること、また同一あるいは類似した状況での反応の個人差もそうした内的な特性によって説明されるとされてきた。これに対して、ミッシェルを中心とした状況主義においては、人間の行動の長期にわたる安定性や状況を通じた一貫性は見られず、人間の行動はもっぱら環境に依存すること、評定法によるパーソナリティの測定では特定の状況での行動の予測は困難であること、またパーソナリティの特性語は、人間が外界をとらえる際の記述的なカテゴリーにすぎないことなどを主張し、大きな論争となった。

(9) ブローカ失語

失語症状群の一つ。言語理解は比較的良好だが、非流暢性発話が認められ読み書きの障害も呈する。運動性言語中枢の左側頭葉のブローカ野の損傷によって生じると考えられてきた。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(6 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	外国人
試験科目	心理学		

問1 次の実験論文の抜粋を読んで設問に答えなさい。

(1) 次の1から10のそれぞれの文章について、本文の内容に合致している場合は○を、合致しない場合は×を記入しなさい。解答用紙には問題番号が分かるように記入すること。

1. Cuing effect とは、我々が他人の見ているものを好ましく思う現象である。
2. 本実験では、6つブロックがあったが、参加者が物体の好ましさを評定したのは最後のブロックだけであった。
3. 本実験では同じ物体が違う色で参加者に呈示されることがあった。
4. 実験に使われた顔は、参加者が今まで見たことのない人達の顔であった。
5. 参加者は、物体を工具かキッチン道具かを答える際、答えを口頭で実験者に伝えた。
6. Cuing effect があったかどうかは、参加者が物体を工具かキッチン道具かを答えた際の正答率を見ればわかる。
7. Table 1 の RT について、一致試行と不一致試行の違いは矢印条件では有意であったが視線条件では有意ではなかった。
8. Cuing effect は視線条件と矢印条件の両方で見られた。
9. 本研究の結果から、消費者が商品に好感を抱くような広告を作るには、顔が美しい人物が商品を見ているようにすることが重要だと著者は述べている。
10. もとから好感度が非常に高い、または低い物体に対しては視線の影響がない可能性がある」と著者は述べている。

(2) 実験条件としてなぜ arrow cue condition が設けられているのか説明しなさい。

(3) Object rating に関する各条件の結果はどのようなものであったか、Figure 2 から読み取って説明しなさい。

(4) 本研究では、congruent trials と incongruent trials しか設定されなかったが、本文の最後の段落で、著者は将来の研究では中性試行 (neutral trials) を作るとよいと提案している。中性試行を作ることによって何を明らかにできるのか説明しなさい。

(6 枚のうち 2 枚目)

(6 枚のうち 3 枚目)

(6 枚のうち 4 枚目)

(Bayliss, A.P., Paul, M.A., Cannon, P.R. et al. (2006). Gaze cuing and affective judgments of objects: I like what you look at. *Psychonomic Bulletin and Review*, 13, 1061-1066. に基づき作成)

問 2 以下の事例について、分析結果の解釈においてどのような問題があるか説明しなさい。ある先行研究では研究参加者 80 名が 2 条件の課題を行い、対応のある t 検定で比較した結果として条件間で有意な差が報告されていた。追試として、先行研究に則って同じ実験を参加者 12 名で実施した。先行研究と同様に対応のある t 検定で比較したところ、条件間で有意な差は認められなかった。統計的有意性において再現できなかったことから、先行研究の結果は偶然によって生じたものであり、信頼性がないと結論した。

問 3 以下から 2 つ選んで答えなさい。

- (1) 幼児期までのアタッチメント(attachment)スタイルと、青年期・成人期以降のアタッチメント(attachment)スタイルについて、関連や相違点を述べなさい。
- (2) 古典的条件づけにおける複数の条件刺激 (CS) 間の競合現象である阻止 (blocking) について説明しなさい。
- (3) 感情の発動について、事象に対する何らかの認知的評価が必要だとする立場と必要ではないとする立場の論争がある。感情のサブリミナルプライミングはこの論争に関わる。感情のサブリミナルプライミングの例を示し、プライミング効果が示された場合に、上記の論争にどのような意味を持つか説明しなさい。
- (4) 選択肢 X と選択肢 Y の好みについて石川県 300 人と富山県 200 人に調査を行ったところ以下の結果を得た。カイ二乗検定によって石川県と富山県の度数分布の比較を行う上で、(A) 帰無仮説はどのようなものになるか、(B) 帰無仮説が正しい場合の期待値として A~D に入る数値について、数値計算の考え方が分かるように説明しなさい。期待値は A, B, C, D が分かるように解答用紙に記入すること。

	選択肢 X	選択肢 Y
石川県	200 人 (期待値 A=)	100 人 (期待値 B=)
富山県	100 人 (期待値 C=)	100 人 (期待値 D=)

問 4 以下の用語から 4 つ選んで簡潔に説明しなさい。

- (1) 単純接触効果 (mere exposure effect)
- (2) ワーキングメモリ
- (3) 記憶の順向性干渉 (順向抑制) と逆向性干渉 (逆向抑制)
- (4) 心理・社会的モラトリアム
- (5) 構成概念妥当性
- (6) オペラント条件づけにおける負の強化
- (7) 遅延価値割引 (delay discounting)
- (8) 人間-状況論争 (person-situation controversy)
- (9) ブローカ失語

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題 解答例および出題意図

(5 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	外国人
試験科目	心理学		

問1 次の実験論文の抜粋を読んで設問に答えなさい。

(1) 次の1から10のそれぞれの文章について、本文の内容に合致している場合は○を、合致しない場合は×を記入しなさい。解答用紙には問題番号が分かるように記入すること。

1. Cuing effect とは、我々が他人のしているものを好ましく思う現象である。×
2. 本実験では、6つブロックがあったが、参加者が物体の好ましさを評定したのは最後のブロックだけであった。○
3. 本実験では同じ物体が違う色で参加者に呈示されることがあった。○
4. 実験に使われた顔は、参加者が今まで見たことのない人達の顔であった。○
5. 参加者は、物体を工具かキッチン道具かを答える際、答えを口頭で実験者に伝えた。×
6. Cuing effect があったかどうかは、参加者が物体を工具かキッチン道具かを答えた際の正答率を見ればわかる。×
7. Table 1 の RT について、一致試行と不一致試行の違いは矢印条件では有意であったが視線条件では有意ではなかった。×
8. Cuing effect は視線条件と矢印条件の両方で見られた。○
9. 本研究の結果から、消費者が商品に好感を抱くような広告を作るには、顔が美しい人物が商品を見ているようにすることが重要だと著者は述べている。×
10. もとから好感度が非常に高い、または低い物体に対しては視線の影響がない可能性がある」と著者は述べている。○

(2) 実験条件としてなぜ arrow cue condition が設けられているのか説明しなさい。

物体の好感度を向上させるためには、人の目が物体を見ていないといけないのかどうかを確認するため。

(3) Object rating に関する各条件の結果はどのようなものであったか、Figure 2 から読み取って説明しなさい。

視線が向いていた方向にあった物体は視線と反対方向にあった物体よりも高い好感度を得たが、矢印が物体に向いていたかどうかは物体の好感度には影響しなかった。

(5 枚のうち 2 枚目)

(4) 本研究では、congruent trials と incongruent trials しか設定されなかったが、本文の最後の段落で、著者は将来の研究では中性試行 (neutral trials) を作るとよいと提案している。中性試行を作ることによって何を明らかにできるのか説明しなさい。

一致と不一致試行の相対的な違いだけでなく、中性試行と比較することで、視線がない状態と比べて一致試行の好感度が上がったのか、不一致の試行の好感度が下がったのかがわかる。

(Bayliss, A.P., Paul, M.A., Cannon, P.R. et al. (2006). Gaze cuing and affective judgments of objects: I like what you look at. *Psychonomic Bulletin and Review*, 13, 1061-1066. に基づき作成)

問 2 以下の事例について、分析結果の解釈においてどのような問題があるか説明しなさい。

ある先行研究では研究参加者 80 名が 2 条件の課題を行い、対応のある t 検定で比較した結果として条件間で有意な差が報告されていた。追試として、先行研究に則って同じ実験を参加者 12 名で実施した。先行研究と同様に対応のある t 検定で比較したところ、条件間で有意な差は認められなかった。統計的有意性において再現できなかったことから、先行研究の結果は偶然によって生じたものであり、信頼性がないと結論した。

(採点方針: 採点はサンプルサイズと検定力の関係を指摘しているか、本事例がそれを踏まえた結論ではないことに触れられているかが基準となる。) 先行研究と本事例の研究ではサンプルサイズが大きく異なる。一般的にサンプルサイズが大きいほど検定力が高まるため、先行研究の統計的検定の方が条件間の差異の有無を正しく検出できている可能性が高い。逆に本事例では先行研究と比してサンプルサイズがかなり小さいため本事例で行われた統計的検定の検定力は相対的に低い。それにも関わらず、先行研究と異なり条件間の差が有意にならなかったという検定結果が得られたことをもって、先行研究の結果が再現されず、信頼性が低いと結論づけている。これはサンプルサイズと検定力の関係を理解しないまま分析結果を解釈したと言える。

問 3 以下から 2 つ選んで答えなさい。

- (1) 幼児期までのアタッチメント(attachment)スタイルと、青年期・成人期以降のアタッチメント(attachment)スタイルについて、関連や相違点を述べなさい。

(採点方針) エインズワースが示した幼児期の内的ワーキングモデルの類型が説明できているか。成人期においては、成人用愛着面接やなど成人期のアタッチメントスタイルの測定に言及できているか。幼児期のアタッチメントのありようは対人関係の原型としてその後の発達過程での対人関係に関わると考えられている一方、幼児期のアタッチメントスタイルがそのまま成人期にもちこされとは限らず、環境や経験の要因によって変化が見られることに言及できているか。

(2) 古典的条件づけにおける複数の条件刺激 (CS) 間の競合現象である阻止 (blocking) について説明しなさい。

2 つの条件刺激 CS1 と CS2 があるとき、先に CS1 が無条件刺激 US と対提示されて十分な条件反応を喚起するようになった後で、CS1 と CS2 複合して US と対提示しても (CS1+CS2→US)、CS に対する条件づけが生じにくくなることを阻止またはブロッキングという。CS1 によって US が十分に予測可能であれば、後から追加された CS2 に対しては学習が生じないことを示す現象である。古典的条件づけが対提示された CS と US の単純な連合過程ではなく、生物にとって重要な事象である US を CS によって予測することに関する学習であることを示すものである。

(3) 感情の発動について、事象に対する何らかの認知的評価が必要だとする立場と必要ではないとする立場の論争がある。感情のサブリミナルプライミングはこの論争に関わる。感情のサブリミナルプライミングの例を示し、プライミング効果が示された場合に、上記の論争にどのような意味を持つか説明しなさい。

感情のサブリミナルプライミングでは感情を誘発する刺激 (顔表情など) を観察者が意識できないくらい短い時間提示し、その後、感情を誘発しない中性的な刺激 (文字や図形など) を提示する。観察者は中性刺激の好感度などを評価する。中性刺激の評価がプライムの感情価に基づいてなされれば、プライミング効果があったといえる。この場合、プライム刺激は意識されていないため認知的評価はされなかったにも関わらず、観察者は感情を感じていたことになる。よって論争においては感情の誘発に認知的評価が必要ないとする立場を支持する。

(4) 選択肢 X と選択肢 Y の好みについて石川県 300 人と富山県 200 人に調査を行ったところ以下の結果を得た。カイ二乗検定によって石川県と富山県の度数分布の比較を行う上で、(A) 帰無仮説はどのようなものになるか、(B) 帰無仮説が正しい場合の期待値として A~D に入る数値について、数値計算の考え方が分かるように説明しなさい。期待値は A, B, C, D が分かるように解答用紙に記入すること。

	選択肢 X	選択肢 Y
石川県	200 人 (期待値 A=)	100 人 (期待値 B=)
富山県	100 人 (期待値 C=)	100 人 (期待値 D=)

帰無仮説では、石川県と富山県で選択肢 X と選択肢 Y の好みに差はなく、観測値における 2 県の差は標本抽出の際の誤差によるものであると考える。全調査対象者 500 名について、60%に相当する 300 名が選択肢 X、40%に相当する 200 名が選択肢 Y を選択している。したがって、帰無仮説によると、それぞれの県の調査対象者の 60%が選択肢 X を、40%が選択肢 Y を選択することが期待値となる。したがって、期待値 A=180、期待値 B=120、期待値 C=120、期待値 D=80 となる。

問4 以下の用語から4つ選んで簡潔に説明しなさい。

(1) 単純接触効果 (mere exposure effect)

ある刺激を繰り返し提示されると、そうでない刺激よりも好意を抱くようになること。繰り返し提示されることにより、その刺激に対する知覚的流暢性が増し、それがポジティブな感情を生み出すと考えられている。

(2) ワーキングメモリ

短期記憶と長期記憶という2段階モデルの短期記憶に相当し、視空間情報を保持する下位システムである視空間スケッチパッドと音韻的情報を保持する下位システムである音韻ループを中央実行系が制御することや、中央実行系が処理資源の配分を行うことなどがモデル化されている。

(3) 記憶の順向性干渉 (順向抑制) と逆向性干渉 (逆向抑制)

ある事項に関する記憶Aによって、それよりも後に経験した事項に関する記憶Bの想起が難しくなる現象を順向性干渉と言う。これに対し、ある事項に関する記憶Aが、それよりも後に経験した事項に関する記憶Bによって干渉を受け、想起が難しくなる現象を逆向性干渉と言う。

(4) 心理・社会的モラトリアム

青年期を、アイデンティティ形成の途上で、心理的、社会的に成人となるまでの責任を猶予された期間であるとして、経済用語の「支払い猶予」の意味から転用された用語である。またマーシャは、自分にふさわしい役割・職業・理想・イデオロギーを模索、試行する危機と、自己定義を実現し自己を確認するための独自の目標や対象への努力の傾注である積極的関与 (コミットメント) の有無から青年のアイデンティティに向けた状態を4つの地位 (ステイタス) に類型化し、このうち危機を経験しつつも積極的関与のない青年をモラトリアム地位に分類した。

(5) 構成概念妥当性

心理尺度の妥当性概念の一つで、作成された心理尺度と、その尺度が測ろうとしている構成概念から理論的に推定される事柄が一致していることをもって尺度の妥当性を確認すること。異なる構成概念が想定される尺度が、因子分析の結果そのような因子が得られることによる因子的妥当性、理論的に異なる構成概念間で相関関係が見られないことによる弁別的妥当性、同一の構成概念を別の指標で測った場合や、理論的に関連する変数同士の相関が高いことによる収束的妥当性などが含まれる。

(6) オペラント条件づけにおける負の強化

オペラント条件づけにおいて、個体の反応に伴って嫌悪刺激が除去される手続きを負の強化と言い、反応の生起確率・頻度を増加させる効果を持つ。オペラント反応によって不快刺激が停止される逃避学習や不快刺激を事前に回避できる回避学習は負の強化手続きによる学習である。

(7) 遅延価値割引 (delay discounting)

時間的に遅延して提示される報酬の主観的価値が、即時報酬に比べて低下すること。報酬が得られるまでの時間的遅延によって報酬を獲得できないリスクが生じることで主観的価値が低下すると考えられている。

(8) 人間-状況論争 (person-situation controversy)

伝統的なパーソナリティ観においては、個人の中に潜在的・内的属性としての「特性」を認め、それによってある程度一貫した個人の行動が規定されること、また同一あるいは類似した状況での反応の個人差もそうした内的な特性によって説明されるとされてきた。これに対して、ミッシェルを中心とした状況主義においては、人間の行動の長期にわたる安定性や状況を通じた一貫性は見られず、人間の行動はもっぱら環境に依存すること、評定法によるパーソナリティの測定では特定の状況での行動の予測は困難であること、またパーソナリティの特性語は、人間が外界をとらえる際の記述的なカテゴリーにすぎないことなどを主張し、大きな論争となった。

(9) ブローカ失語

失語症状群の一つ。言語理解は比較的良好だが、非流暢性発話が認められ読み書きの障害も呈する。運動性言語中枢の左側頭葉のブローカ野の損傷によって生じると考えられてきた。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・ <input checked="" type="checkbox"/> 外国人・社会人
試験科目	社会学		

問題1 次の人名・用語の中から3つを選び詳しく説明しなさい。選んだ語句と番号をはじめに記すこと。いずれも日本語で解答すること。

1. 疎外(alienation)
2. 社会構築主義(social constructionism)
3. ロジスティック回帰分析(logistic regression analysis)
4. ポール・ウィリス(Paul Willis)
5. 繰り返し調査とパネル調査 (repeated survey and panel survey)
6. 二次分析とデータ・アーカイブ(secondary analysis and data archive)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・ <input type="checkbox"/> 外国人・社会人
試験科目	社会学		

問題2 次に示している日本語の文章は、教育社会学者が事典で、「官僚制」概念について説明したものである。この文章を読んで、(1)から(3)に日本語で答えなさい。

- (1)官僚制の弊害にはどのようなものがあると著者は述べているか、要約しなさい。
- (2)社会の諸領域における「脱魔術化過程」には、著者が指摘する以外にどのような現象が過去にあったか、あるいは現在あると言えるか。例をあげて述べなさい。
- (3)著者の指摘する学校の「再魔術化」過程とはどのようなものかを説明し、著者の見解に関するあなたの考えを論じなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 3枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 4枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

(『教育社会学事典』, 日本教育社会学会, 丸善出版, 2018年, 88ページ2行目から89ページ30行目まで。出題のために、小見出しを削除している。)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 5枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

問題3 次の英語の文章は、ヨーロッパの研究者による、組織運営に関する国際比較研究についての書籍から引用したものであり、第9章の結論部分の一部である。これを読んで、以下の問題に答えなさい。

- (1) 下線部を日本語に訳しなさい。
- (2) この文章で示されている著者の見解をまとめて、日本語で説明しなさい。
- (3) この文章で示されている著者の見解に対し、あなたはどのように考えるか。理論の応用と展開という視点から、日本語で論じなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(6枚のうち 6枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	社会学		

(つづき)

(Geert Hofstede, Gert Jan Hofstede, and Michael Minkov, *Culture and Organizations*,
3rd edition, McGraw Hill, 2010, 337 ページ 34 行目から 339 ページ 13 行目まで)

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 社会学

解答例又は出題意図

問題 1

出題意図：社会学関連の概念や人名について説明する問題で、社会学の基礎知識を身につけているかどうかを問うています。社会学の各種辞典での該当項目の説明が、よい回答例になります。

問題 2

(1)

出題意図：社会学の理論についての知識をもっており、それをもとにして日本語の出題文を理解し、的確に要約することができるかどうかを問うています。

(2)

出題意図：社会学史の基礎知識をもっており、それをもとにして日本語の出題文を理解し、社会学の概念を自分の知識に適用することができるかどうかを問うています。

この問題の場合には、近代化にかかわる具体的現象を説明できることがポイントとなります。

(3)

出題意図：社会学の理論についての知識をもっており、それをもとにして日本語の出題文を理解した上で、自分の主張を含めて、学問的な議論を展開する能力を問うています。

問題3

(1) 解答例：アメリカの理論が優れているという信念は、多くの経営学の「国際的な」学術雑誌が、アメリカ人の編集者によってアメリカで刊行されているという事実によって、強められている。そのため、北アメリカ以外の著者は、論文を受理されることがとても難しい。イギリスのデービッド・ヒクソン教授とデレック・ピュー教授は、『組織論の偉大な著者たち』という論文集に71人の論文を収めたが、そのうち48人がアメリカ人であったが、イギリス人は15人、カナダ人は2人であり、アングロ系以外は6人しかいなかった。

(2) 出題の意図： 社会学や組織論など社会科学の知識をもっており、それをもとにして英語の出題文を理解し、的確に要約することができるかどうかを問うています。

(3) 出題の意図： 社会学や組織論など社会科学の知識をもっており、それをもとにして英語の出題文を理解し、自分の主張を含めて学問的な議論を展開する能力を問うています。

（4枚のうち 1枚目）

専攻名【 人文学専攻 】 試験科目【 日本史学 】 選抜区分【 一般 ・ 外国人 ・ 社会人 】

【第一問】以下の二つのテーマから一つを選び、解答用紙一枚を用いて論述しなさい。

(一) 律令国家と氏族制

(二) 藩研究の現状と課題（中小藩も含む）

【第二問】次の史料Ⅰ～Ⅲの中から二題を選択し、それぞれの内容の概要を示し、日本史研究上の意義を述べなさい。その際、一題につき解答用紙一枚を使用すること。

I

(4枚のうち 2枚目)

専攻名【人文学専攻】
試験科目【日本史学】
選抜区分【一般・外国人・社会人】

II

歴史学研究会 編『日本史史料[3]近世』(岩波出版, 2006年)
35頁上段3行目～下段2行目
なお, 本文中に改変した部分がある。

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち 3枚目)

Ⅲ

専攻名 (人文文学専攻)
試験科目 (日本史学)
選抜区分 (一般)
外国人 ・ 社会人)

横山源之助 『横山源之助全集 第二巻』 (社会思想社、2001年)
344頁5行目～345頁16行目

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(4枚のうち 4枚目)

専攻名【 人文学専攻
試験科目【 日本史学
】 選抜区分【 一般・外国人・社会人】

【第三問】 以下に掲げるコピーの古文書を解読しなさい(縦書き、原文通り改行のこと)。

南宮原村銀子預主清兵衛ほか『預申銀子之事』
(金沢大学人間社会研究域上田長生研究室所蔵文書，天保7年)

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 日本史学

解答例又は出題意図

【第一問】

各時代の重要テーマについて研究史の現状と課題をふまえ、自らの研究課題を設定する力を問うのが出題のねらいである。

【第二問】

各時代の研究遂行に必要な不可欠である史料読解力を有しているかを確認し、かつⅠ古代の官僚制と桓武朝の政治史、Ⅱ近世社会の形成と豊臣政権期の政治史、Ⅲ近代の帝国主義と日本の社会運動についての知見を持ち合わせているかどうかを確認するのが、出題の狙いである。

【第三問】

大学院博士前期課程における研究遂行に必要な不可欠な古文書読解力を有しているかを問うのが出題のねらいである。

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（4枚のうち 1枚目）

専攻名【 人文学専攻 】 選抜区分【 一般 ・ 外国人 ・ 社会人 】
試験科目【 日本史学 】

【第一問】以下の二つのテーマから一つを選び、解答用紙一枚を用いて論述しなさい。

- (一) 律令国家と氏族制
- (二) 藩研究の現状と課題（中小藩も含む）

【第二問】次の史料Ⅰ～Ⅲの中から二題を選択し、それぞれの内容の概要を示し、日本史研究上の意義を述べなさい。その際、一題につき解答用紙一枚を使用すること。

I

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（ 4枚のうち 2枚目）

専攻名【 人文学専攻
試験科目【 日本史学
選抜区分【 一般・外国人・社会人】

II

歴史学研究会 編『日本史史料 [3] 近世』（岩波出版，2006年）
35頁上段3行目～下段2行目
なお，本文中に改変した部分がある。

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（4枚のうち 3枚目）

専攻名
【 日本文学専攻
試験科目
【 日本史学
【 選抜区分【 一般・外国人・
社会人】

III

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）
第2期募集 入学試験問題

（4枚のうち 4枚目）

専攻名【 人文学専攻 】 選抜区分【 一般 ・ 外国人 ・ 社会人 】
試験科目【 日本史学 】

【第三問】 以下に掲げるコピーの古文書を解読しなさい（縦書き、原文通り改行のこと）。

南宮原村銀子預主清兵衛ほか『預申銀子之事』
（金沢大学人間社会研究域上田長生研究室所蔵文書，天保7年）

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学

選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 日本史学

解答例又は出題意図

【第一問】

各時代の重要テーマについて研究史の現状と課題をふまえ、自らの研究課題を設定する力を問うのが出題のねらいである。

【第二問】

各時代の研究遂行に必要な不可欠である史料読解力を有しているかを確認し、かつⅠ古代の官僚制と桓武朝の政治史、Ⅱ近世社会の形成と豊臣政権期の政治史、Ⅲ近代の帝国主義と日本の社会運動についての知見を持ち合わせているかどうかを確認するのが、出題の狙いである。

【第三問】

大学院博士前期課程における研究遂行に必要な不可欠な古文書読解力を有しているかを問うのが出題のねらいである。

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 1枚目)

専攻名【 人文学 】 選抜区分【 一般・外国人・社会人 】
試験科目【 東洋史学 】

*試験問題には、**問題1**、**問題2**および**問題3**がある。それぞれの指示に注意しながら、**問題1**、**問題3**の全
てに解答すること。問題用紙は全部で3枚ある。

*解答用紙は「横書き」で用いること。また、解答の際には、問題ごとに解答用紙を替えて解答すること。

問題1

以下の文章は、馮爾康『18世紀以来中国家族的現代轉向』の一部である。左に引用した文章
のなかの、線で囲った部分を現代日本語に訳しなさい。

[馮爾康著《18世紀以来中国家族的現代轉向》(上海人民出版社、二〇〇五年)

三十頁十行目～三十一頁六行目、十九行目～二十三行目]

なお本文中に改変した部分がある。

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 2枚目)

専攻名【 人文学 】 選抜区分【 一般 外国人 社会人 】
試験科目【 東洋史学 】

問題2

以下の史料は、『隋書』卷三十七に収録されている李敏の伝、および李渾の伝の一部である。引用した史料を読んだうえで、このうち線で囲ったAとBのふたつの部分を、それぞれ現代日本語に訳しなさい。

なおBを翻訳する際には、「帝」および「述」「金才」「宇文氏」がそれぞれ誰を指しているか、その称号または姓名を、引用の史料に基づいて明記しなさい。それぞれ最初の登場時のみでよい。

2023年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 3枚目)

専攻名【 人文学 】 選抜区分【 一般 外国人 社会人 】
試験科目【 東洋史学 】

〔唐〕魏徵等編 点校本二十四史修訂本『隋書』第四冊 卷三二至卷四五 (中華書局、二〇一九年)、
一二七六頁三行目～一二七七頁五行目、および一二七三頁二行目～同頁最終行。
なお本文中に改変した部分がある。

問題3

以下の語句のうちから5つを選び、その内容や歴史的意義などについて、現代日本語もしくは現代中国語で説明しなさい。

木版印刷 秋瑾 二十四軍の制 六鎮の乱 (遼寧省の) 朝陽
貞観の治 入唐求法巡礼行記 瀚洲実録 閩隴集團

以上

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 東洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆の基礎になる関連知識の確認に加え、学術論文の読解力と日本語の表現力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているかどうかを問うものである。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	西洋史学		

問題1 以下の2つの英文を全訳しなさい。

(A)

出典： Sarah Davis-Secord, *Migration in the Medieval Mediterranean*, Arc Humanities Press, Leeds, 2021, p.45. 1.1-18.

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	西洋史学		

(B)

出典: Jason P. Coy, *Strangers and Misfits. Banishment, Social Control, and Authority in Early Modern Germany*, Brill, Leiden/Boston, 2008, p.4. 13-21.

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	西洋史学		

問題2 初期近代のキリスト教の二大宗派化が国家や社会の動向に及ぼした影響や意義について、具体例を挙げて論じなさい。

問題3 以下の語句の中から8つを選択して、説明しなさい。

- ① 元首政 principatus
- ② ペテロ(使徒) Petrus [羅], Peter [英, 独]
- ③ ペロポネソス同盟 Peloponesian League
- ④ 三段櫂船 trieres
- ⑤ ロロ Rollo
- ⑥ ドゥームズデイ・ブック Domesday Book
- ⑦ フィリップ4世[美王] Philippe IV le Bel
- ⑧ コンキスタドール conquistador
- ⑨ ボストン茶会事件 The Boston Tea Party
- ⑩ ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ Johann Wolfgang von Goethe
- ⑪ ヨシブ・ブロズ・ティトー Josip Broz Tito
- ⑫ 第四共和政(フランス) Quatrième République

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 西洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

別紙のとおり

2023年度大学院入試 第2期(博士前期課程・西洋史) 出題意図と解答例

問題1

(A) 出題意図・要約

[出題意図] 中世の地中海沿岸域は、かつてベルギーの歴史家アンリ・ピレンヌによって、イスラーム勢力の進出によってキリスト教徒に閉ざされたと論じられたが、今日では、実際には信仰や民族を異にする人々の間で様々な形で交渉があり、人々の往来も活発であったことが知られるようになっている。今回の出題は、そうした分野の最新の成果を紹介するものである。英文は比較的平易であり、特段の予備知識がなくとも文意を理解するのはさほど困難ではないように思われるので、受験者の基本的な読解力を測るには妥当なテキストであると判断した。

[要約] 中世における多くの移動は領土の征服によって拍車がかげられたため一とりわけ、結果として地域の統治や支配的な宗教、言語、文化に重大な変化をもたらされるようなその場合、11-12世紀には地中海を囲む領域において人口統計上の重大な変動が見られた。イスラーム支配下のシチリア島へのノルマン人の侵攻は、これらの世紀におけるムスリム領に対するキリスト教徒国家権力の大規模な運動の一例に過ぎなかった。スペインの「レコンキスタ」(再征服)とは、イベリア半島のムスリム諸国家に対してキリスト教諸王国が徐々に南進したことであり、同様に、十字軍は、ムスリムの占める空間にキリスト教徒が侵入し、地中海のより広範な地域におけるパワー・バランスが変動したことを表わしていた。これらの政治的変革は、より広範な歴史にとって極めて重要だったが、我々はまた、そうした征服の人的側面も留意しておくべきである一それらは、現地に暮らす人々に暴力、混乱、死、そして生活条件や宗教、言語、文化における重要な変化をもたらしたのである。

問題 1 (B)

【出題意図】

初期近代社会における犯罪・刑罰の取り締まり（ここでは追放刑の実践が例に挙がる）は、誰が社会的コントロールの主導権を取るのか、ひいては近代国家がどのように成立してくるのかを考える上で重要なテーマとなりうる。本英文はヴェーバー、エストライヒらの難解な理論を挙げながらも、犯罪・刑罰という社会史的テーマを通じて近代国家形成のあり方を展望するための糸口を示唆してくれている点で、初学者にとって有意義な入口となりうる。

【要約】

追放の実行に関する分析は初期近代の社会的コントロールの主導権に関して新しい光を照らしてくれもする。それはますます強制力があり教育的でもある法の執行を通じて社会を規律化しようとする努力である。ヨーロッパ全体で犯罪や逸脱の境界を定め、社会的規範を成文化し、行動を取り締まろうとする中央政府による試みは、ここ数十年、強い学術的関心を引いてきたが、しばしば近代官僚制国家の形成を中心に据えていた。2つの枠組み—それらはどちらも国家形成や近代化に関するマックス・ヴェーバーの理論によって影響を与えられたが—、それらは帝国における規律化の主導権に関する学識を特徴づけてきたのである。第1の、ゲアハルト・エストライヒの社会的規律化の概念は、支配者による強制的規律化の押し付け、および服従の規範を臣民間に教え込むことを、初期近代国家における国家形成や社会変革における推進力として見ている。第2の、1960年代後半のヴァルター・ツェーデンによって紹介され、引き続いてヴォルフガング・ラインハルトやハインツ・シリングによって拡充された信仰告白化モデルは、宗教的適合と社会的コントロールを強制する際に国家と教会の一体化した努力を強調した。このモデルの支持者によれば、これらの努力が次第に近代官僚制国家の出現へと導いたのである。

問題 2 初期近代のキリスト教の二大宗派化が国家や社会の動向に及ぼした影響や意義について、具体例を挙げて論じなさい。

【出題意図】

ローマ教皇を頂点に戴きつつ西ヨーロッパに確固たる地盤を築いてきたかに見えたローマ・カトリック・キリスト教世界は、確かに、13世紀初頭のインノケンティウス3世の下で最盛期を迎えたとされるが、一転して、14世紀初頭の聖職者への課税問題をめぐるフランス王フィリップ4世と教皇ボニファティウス8世の対立、教皇の投獄・憤死、教皇庁のアヴィニョンへの移転、さらには14世紀半ばのペスト大流行、15世紀前半にかけてのいわゆる「教会大分裂」など、収まりを見せない社会不安とともに不穏な空気に取り巻かれるようになったといえる。15世紀にはすでに内部からカトリック教会改革が唱えられてはいたが、現実社会ではメディチ家出身の教皇レオ10世の贖宥状乱発問題が引き金となって、16世紀前半にルターの「宗教改革」が脚光を浴びることとなった。とはいえこれまで異端撲滅において百戦錬磨のカトリックにとって、のちにプロテスタントと呼ばれる対抗勢力の登場も「対抗宗教改革（カトリック宗教改革）」の下で決して優勢を誇ったわけでもない。ただこれが宗教世界にとどまらず、まずは領邦国家ドイツにおける政治権力の問題へと波及し、ルターに次いでカルヴァンが登場することによって、フランス、イギリスを含めキリスト教世界全体が国際政治の舞台でカトリックかプロテスタントかの二者択一の亀裂を体験することになったことは、諸国家、社会に宗派問題に関する新たな決断を突きつけたといえる。例えばドイツに関しては、確かに1555年のアウクスブルクの和議が宗派間の亀裂に一定の政治的決着をもたらしたが、例えばプロテスタント都市がカトリック聖職者を一掃したわけではなく、宗派問題、政治問題のいずれにおいても共存の道を模索しなければならなくなったし、近隣の都市や地域との相互関係においても政治的決断においてしばしば譲歩・妥協を強いられることもあった。カトリックかプロテスタントか、両輪の権力関係はドイツの個々の都市や地域でその後も火種を抱えたまま、17世紀には肥大化して全体的な国際関係の下で三十年戦争を戦うこととなり、二大宗派と政治権力の問題は諸国家の利害と複雑に絡み合いながらドイツ全体に疲弊をもたらすことになったといえるかもしれない。

今回の出題は、国家（領邦を含む）や社会における特定のテーマに関して二大宗派化がもたらした影響・意義を論じてもらってもよいし、国家をまたいで国際関係における二大宗派化がもたらした影響力・相互関係を論じてもらってもよい。ある時期の具体例を詳述しながら、それを全体の流れにどのように位置づけることができるかの力量が問われるであろう。その際、「論じる」姿勢がどの程度、文章にあらわれているか、論理的な展開ができているかを評価の対象としたい。

問題3 解答例

① 元首政 principatus

前1世紀後半から3世紀後半までの前期ローマ帝国の政治体制。この時期の皇帝は、実質的には独裁的権力を有したが、建前上は元老院や共和政の威風を尊重し、「市民の第一人者」として統治にあたったことがその名の由来である。

② ペテロ（使徒） Petrus [羅], Peter [英, 独]

キリスト十二使徒の筆頭。イエス亡き後の原始キリスト教団を指導したがローマで殉教。ペテロが初代ローマ司教を務めたことが、その後継者であるローマ司教が教皇として全教会を指導する権限を有する論拠のひとつとされる。ヴァチカンのサンピエトロ寺院は、彼の墓の上に建立されている。

③ ペロポネソス同盟 Peloponesian League

スパルタ人が周囲のポリスと結んだ攻守同盟。同盟軍の指揮権は常にスパルタが掌握していた。アテネが主導するデロス同盟と対立し、それはやがてペロポネソス戦争に発展した。前371年のレウクトラの戦いでスパルタが敗北したのを機にその5年後に解散した。

④ 三段櫂船 trieres

古代ギリシアの主力軍船。漕ぎ手が左右それぞれに3段に並んだことが名の由来。船首に備えた衝角で敵船に突撃するのが主要な戦法だった。漕ぎ手を務めたのは重装歩兵の費用を自弁できない下層市民であったため、アテネ艦隊が奮戦したペルシア戦争以降、アテネでは下層市民の発言権が増大し、それが民主政の発展を促したと言われている。

⑤ ロロ Rollo

ヴァイキングの首領。9世紀末からセーヌ河口から北フランス一帯に略奪行為を繰り返して、ノルマンディー王国を建設して定住。911年、西フランク王シャルル3世との条約によりセーヌ下流域を封土として与えられ、キリスト教に改宗。ノルマンディー公となった。

⑥ ドゥームズデイ・ブック Domesday Book

イングランドを征服して王に即位したウィリアム1世（ノルマンディー公ギヨーム）が封建制を導入し、徴税を目的として完成させた全国的検地帳。地域ごとに荘園の所有者名、人口構成、地積等が詳細に記載されている。

⑦ フィリップ4世 [美王] Philippe IV le Bel

カペー朝のフランス王。聖職者への課税をめぐる教皇ボニファティウス8世と争い、

1302年には最初の三部会を開催し、翌年には教皇をアナーニに幽閉し、その後憤死に追い込んだ。またテンプル騎士団を異端として解散させ、財産を没収。教皇庁をアヴィニョンに移し、フランス人教皇を誕生させ、強い影響下に置いたとされる。晩年には王国全土で王権への抵抗が生じた。

⑧ コンキスタドール conquistador

16世紀前半、アメリカ大陸を探検・征服したスペイン人を指す。征服者という意味。アステカ王国を滅ぼしたコルテス、インカ帝国を破壊したピサロが代表的。彼らは黄金財宝の略奪のために多数のインディオを殺害。征服をキリスト教布教のための聖戦として正当化した。16世紀後半には植民地支配をめざすスペイン王室が彼らの封建領主化を抑えるべく特権を剝奪した結果、各地に反乱を生ぜしめた。

⑨ ボストン茶会事件 The Boston Tea Party

1773年、イギリスが茶法を定めて東インド会社に茶の独占販売権を与えると、これに抗議する英領マサチューセッツ植民地のボストン市民がアメリカ先住民に変装して同社の船に乗り込み、茶箱を海に投棄した事件。その後、イギリス本国政府がボストン港を閉鎖するなど制裁を加えたため、植民地側も翌年にフィラデルフィアで第1回大陸会議を開いた。

⑩ ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ Johann Wolfgang von Goethe

18～19世紀ドイツの文学者。シュトゥルム・ウント・ドラング運動を主導して『若きヴェルテルの悩み』『ファウスト』などを著す。他方、ザクセン・ヴァイマル・アイゼナハ公国では政治家としても活躍、さらに自然科学関係の著作も執筆した。

⑪ ヨシブ・ブロズ・ティトー Josip Broz Tito

20世紀ユーゴスラヴィアの政治家。第二次世界大戦中、パルチザンを率いてドイツの支配に抵抗。戦後社会主義国家を樹立して初代首相、大統領となるが、ソ連とは異なる自立的な路線を選択したため1948年にコミンフォルムから除名され、また61年には首都のベオグラードで第1回非同盟諸国首脳会議を開催した。

⑫ 第四共和政（フランス） Quatrième République

第二次世界大戦後の1946年に新憲法が成立して発足。だが同憲法では議会の権限が弱く、政情は安定しなかった。さらに58年になると仏領アルジェリアで、民族解放戦線への本国政府の対応に不満を持つ駐留軍が反乱を起こし、これを機にフランスでもド・ゴールが政権を掌握、大統領権限の強い第五共和政憲法を成立させた。

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻専門進化型プログラム 選抜区分 一般

科目名 日本語学日本文学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題一

近世から現代にいたる日本の文学者たちが、漢文学をどのように受容し、自らの創作に反映させ、独自の作品世界を構築していたかを理解しているか問うことを出題の意図としている。

問題二

①大江匡房は平安時代中期の文人である。大江氏は代々、漢学の家として知られる。匡房の曾祖父・匡衡、および匡衡の夫人である赤染衛門も著名である。匡房は漢学の才を活かし、多くの公文書を作成した。才能は説草にも及び、『江都督納言願文集』は平安期唱導文献の白眉をなす。また慶滋保胤を追い、『続本朝往生伝』を著した。これらの著作は、後代の説話集や唱導に多大なる影響を与えている。有職故実についても博識を持ち、その著『江家次第』は『西宮記』『北山抄』とならび、平安時代の故実書の最重要文献である。『江家次第』は、彼の終生の日記『江記』に裏打ちされるものだが、惜しむらくは彼がその日記を死後、燃やすように夫人に願いでいたことであろう。

②

ア) 春来たつては遍くこれ桃花の水なれば 仙源を弁へず何れの処をか尋ねむ

イ) みちとせになるてふもゝのことしよりはなさくはるにあひそめにけるかな

ウ) 漢詩は、春が来ると、どの川の流れも桃の花で満たされているので、(昔、武陵は花びらをたどって桃源郷についたというが)、どの流れを辿れば桃源郷にいたるのかわからない、の意。和歌は、三千年に一度実をつけるという桃が、今年の春からはじめて花を咲かせるようになりましたよ、の意。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	文化遺産学		

問題1

(1) 大学院において自分自身が研究しようとする分野・テーマについて 500 字以内で簡潔に述べなさい。

(2) 次の用語の中から5つ選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- ①蛍光 X 線分析 ②スカラベ形印章 ③フリンダース・ピートリー
④アンフォラ ⑤ウル・ブルン沈没船 ⑥コア・ガラス
⑦テル・アル＝アマルナ ⑧考古学的文化 ⑨分布調査(踏査)
⑩一括遺物 ⑪磁気探査 ⑫ペル・ラメセス

(3) 考古資料と文献史料の相互関係について具体例を出して説明しなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	文化遺産学		

問題2 下記の英文を読んで問いに答えなさい。

(Colin Renfrew and Paul Bahn, *Archaeology: Theories, Methods, and Practice*, Thames & Hudson, 2020, p. 362 より抜粋)

- (1) 英文の内容を要約しなさい。
- (2) 英文の内容と関連する自身が研究する予定の地域の考古学の事例について述べなさい。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(3枚のうち 3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	文化遺産学		

問題3 図はいわゆる「略奪文化財」として有名な作品の一部である。以下の問いに答えなさい。

(2003年9月問題作成者撮影)

- (1) 本作例が本来設置されていたモニュメントを答えなさい。(10点)
- (2) 本作例の現在の所蔵館を答えなさい。(10点)
- (3) 本作例について知るところを歴史的・考古学的・美術史的観点から説明しなさい。(30点)
- (4) 自身の研究分野における「略奪文化財」問題について、具体的な作例を挙げて説明しなさい。(50点)

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 文化遺産学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

(1) 受験者が具体的にどのような資料をどのような方法で何を明らかにしたいのか、大学院博士前期課程への進学希望の理由について問う問題である。

(2) 考古学とその関連分野に関する専門的知識を問う問題

①蛍光 X 線分析(XRF) : 蛍光 X 線 (XRF) は、測定サンプルに X 線を照射して発生する固有の蛍光 X 線を測定することで構成されている元素を同定（組成分析）し、その構成される元素の含有量を分析（定量分析）可能な分析技術である。考古遺物の産地同定に有益な理化学的分析方法である

②スカラベ形印章 : スカラベ甲虫の形態をした印章。本来は護符であったが、中王国時代になると印章として用いられるようになった。石を彫刻したり、ファイアンスやガラスを成形して作られた底面は平らで、そこに文様や碑銘が装飾された。

③フリンダース・ピートリー : 英国のエジプト考古学者で、エジプト考古学史上初めて科学的な発掘調査を行った。彼が土器の型式編年による継起年代法（SD 法）を考案し、これによって専王朝時代は一連の文化段階に区分されることとなった。テル・アル＝アマルナなどエジプト全土で発掘調査を精力的に行なった。

④アンフォラ : 土器の一種で、2 つの持ち手と、胴体からすぼまって長く伸びる首を有する。アンフォラは最初、紀元前 15 世紀ごろのレバノンからシリアの海岸に現れて古代世界に広まり、古代ギリシア・ローマにおいては、ブドウ、オリーブ・オイル、ワイン、植物油、オリーブ、穀物、魚、その他の必需品を運搬・保存するための主要な手段として用いられた。

⑤ウル・ブルン沈没船 : 紀元前 14 世紀後半に遡る青銅器時代後期の難破線で、地中海のトルコ、ウル・ブルンの沖で発見された。沈没船には銅のインゴットが大量に積載されただけでなく、ガラスのインゴット、カナン壺と呼ばれるアンフォラ、象牙とカバの歯、黒檀、ダチョウの卵の殻、同製品、瘦身具など多数の遺物が検出されました。おそらく地中海諸国の各都市の王族や貴族などを相手に取引していた貿易商船と考えられる。

⑥コア・ガラス：メソポタミアで紀元前 1600 年頃に始まり、紀元前 1 世紀頃に吹きガラス技法の発明とともに途絶えたとされる。金属棒の先に耐火粘土等でコア（核）を造り、溶かしたガラスで覆い整形徐冷し、中のコアを掻きだし仕上げる。吹きガラス等では表現し難い、繊細な立体表現も可能。

⑦テル・アル＝アマルナ：紀元前 1340 年頃のエジプト新王国時代第 18 王朝のアクエンアテン王が新たに導入した太陽神アテンのために中部エジプトに建設した新都。古代ではアクトアテン（アテンの地平線）と呼ばれた。約 10 年首都として機能し、放棄された。王宮、神殿、居住区などの配置がそのまま残っている。

⑧考古学的文化：考古学において「文化」の存在を把握する場合、ある特定された時代や地域に特徴的な遺構および遺物が有機的に集合しているあり方が、その時代のその地域の人々の生活、技術、生業、芸能、宗教など物質的、精神的な所産の総体である文化を知る手がかりになると推察できるものについて「文化」としてとらえる。

⑨分布調査（踏査）：考古学者が意図的に遺跡を発見するために行う野外調査。地表で確認できる遺物や遺構を探索し、表面採集して遺物や遺構の年代の傾向から埋蔵されている遺跡の性格を推定する調査である。

⑩一括遺物：同時に放棄された遺物群。様式的研究を行ううえで最も重要な資料となる。どのような状況で放棄されたか、使用痕跡が顕著であるかそうではないかなどに注意しながら考古学の研究に用いる。

⑪磁気探査：磁気探査は、地中の埋設物調査に用いられます。考古学であれば遺構の非破壊調査に用いられる。地表から地中の磁気異常を測定することにより、地表面を傷つけることなく埋設物の有無や深度、平面分布等を推定する。

⑫ペル・ラメセス：古代エジプト新王国時代第 19 王朝のラメセス 2 世がデルタ地帯の東に建設した新都。現在のカンティール遺跡がペル・ラメセスであったことが判明している。発掘調査は一部しか終わっていないが、物理探査により神殿、王宮、居住区などが明らかになっている。旧約聖書のピラメスに比定されている。

（3）考古学と文献史学の関係についてどのように理解しているのかを問う問題。

問題 2 英文読解力と考古学と自然科学の学際融合の理解を問う問題である。

（1）考古学における交易と交換に関する自然科学との学際融合について理解できているか確認する。

（2）英文の内容に照らし合わせて自身が専門とする地域の例についての知識と問題意識があるかを問う

問題 3

1～3は文化遺産学的な常識を問う問題である。

- (1) パルテノン神殿
- (2) 大英博物館
- (3) 以下、模範解答を記す。

ペルシア戦役により焼失したパルテノンは、アテネの政治家ペリクレスの提言により紀元前 448 年～443 年に再建された。神殿の彫刻を担当したのは当代随一の彫刻家フェイディアスであり、調和の取れた作風はクラシック期の傑作と目される。

パルテノン神殿の彫刻群は 1800 年にオスマン・トルコ全権大使であったエルギン伯トーマス・ブルースにより調査され、セリム 3 世の許可を得て本国に持ち帰って公開された。公開当初から国内外で批判されていたが、1816 年にエルギン伯はパルテノンの彫刻群を大英博物館に寄贈し、現在に至る。現在、ギリシアではアクロポリス博物館において失われたエルギン・マーブルのレプリカと残されたオリジナルを並べて展示している。

近年の研究により、オリジナルの彫刻群は先進文明国のエジプトの彫刻を模して彩色されていたが、1930 年代に大英図書館員がこれを無断で洗浄したため、古代の彩色法に関する貴重な考古学的データが失われてしまったことはあまりにも有名である。

(4) は文化遺産学的な問題意識のあり方を問う問題である。自身の研究分野における「略奪文化財」について理解しているか、また研究する上で今後どのように関わっていくか、その姿勢を問う。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(8枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題1】

以下の英文を日本語訳しなさい。(引用除く)

・引用 : Taschereau-Dumouchel, V., Michel, M., Lau, H., Hofmann, S. G., & LeDoux, J. E. (2022). Putting the “mental” back in “mental disorders”: a perspective from research on fear and anxiety. *Molecular Psychiatry*, 27(3), 1322-1330.

【問題2】

以下の英語論文を読み、その後の質問(1)～(3)に回答しなさい。

(次ページに続く)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(8枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

(中略)

(次ページに続く)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

(次ページに続く)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(8枚のうち 4枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

・引用 : Caspi, A., McClay, J., Moffitt, T. E., Mill, J., Martin, J., Craig, I. W., Taylor, A., & Poulton, R. (2002). Role of genotype in the cycle of violence in maltreated children. *Science*, 297(5582), 851-854.

(1) 下線部 1)のようなことが生じる一つの理由として、本論文ではどのような理由があげられているかを説明しなさい。

* functional polymorphism in the promoter of the monoamine oxidase A (MAOA) gene
=モノアミン酸化酵素 A (MAOA) 遺伝子プロモーターの機能多型

(2) 下線部 2)では交互作用がみられたことが示されているが、この交互作用について、具体的にどのような結果がみられたのかを、本文中の情報にもとづき説明しなさい。

*G × E interaction=gene-environment interaction

(3) 下線部 3)で示された4つの変数に関する結果について、本文中の情報にもとづき説明しなさい。

* four measures=four measures は本研究の中で検討した、4つの変数のことを示している。4つの変数とは、素行障害・行為障害 (conduct disorder), 暴力的な犯罪に関する犯罪歴 (convictions for violent crimes), 暴力に対するパーソナリティ特性 (personality disposition toward violence), 反社会的人格障害の症状 (symptoms of antisocial personality disorder) であった。

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第2期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題3】

(1)～(9)の中に入る適切な語句を答えなさい。

- (1)では生物学的要因や幼少期からの経験などで形成された素質を持つ個人が心理社会的ストレスに曝されることで精神疾患を発症すると説明する
- 海馬や帯状回、(2)を含む構造から成り立ち、感情や感覚情報の処理において重要な中継地として位置付けられる皮質下の脳構造を示す概念の一つを辺縁系という
- Mower.Oによって提唱された学習の二要因説(あるいは二過程理論)では、レスポント条件づけによって無条件刺激に先行する中性刺激が条件刺激に変化し、条件刺激からの回避に伴う恐怖の消失によって回避が(3)されると説明する
- 複数の行動の中から特定の行動を増やし、その他の行動を減らすことを目的とした手続きを(4)という
- Teasdale.Jは、抑うつが生じた際に活性化される(5)によってさらに抑うつが増強されると説明した
- 認知行動療法の技法の一つでクライアントが自分の思考や信念の妥当性を明らかにするために実際に現実世界で検証を行う手続きを(6)という
- 研究デザインや実施方法などの特定の要因によって測定データに偏りが生じることを(7)という
- (8)は2つの神経細胞間の信号伝達が持続的に向上することを意味し、長期記憶の形成に関わる現象である
- Nolen-Hoeksema.Sによって提唱され、抑うつ気分に対して(9)する、あるいは注意を逸らすといった反応と気分の持続性を説明する理論を反応スタイル理論という

【問題4】

以下の文章中にある1～11の空欄に適する語句を答えなさい。

自閉症に関わる診断では、これまで、自閉性障害、アスペルガー障害、レット症候群、特定不能の広汎性発達障害などを含む「広汎性発達障害」という複数の診断カテゴリーが設けられていた。しかし、自閉性障害とアスペルガー障害については、自閉症状の点で違いはなく、分類する根拠がないという考えになり、「精神疾患に関する診断と統計マニュアル」最新版のDSM-5では、(1)に名称が変わり、細かい下位分類が取り除かれた。(1)は、大きく分けて2つの特徴により診断がなされる。一つは(2)であり、もう一つは、(3)である。また、(1)より、上記の2つの基準に加えて、一般的には気にならない範囲の音(空調の音、冷蔵庫の音など)などが気になり、会話や実施している課題(次ページに続く)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 6 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

に集中できないなどのような状況を例とした、感覚刺激に対する (4) が追加された。

(1) の症状のアセスメントツールには様々な形式がある。例えば、国内で標準化されているツールには、保護者評価形式の (5)、保護者に対する半構造化面接による (6)、本人が課題を行う (7) がある。

また、(8) は、学童期の子どものおよそ 3%~7%に存在していると考えられている。基本症状は、不注意、多動、衝動性であるとされる。(8) を持つ人々は、(2)とは異なり、その診断基準となる特徴的な行動が、定型発達児・者にもよくみられるようなものであるため、周囲から理解されない場合がある。その行動特性が障害によるものではなく、本人自身の問題として叱責の対象やいじめの対象となることがある。こういった経験による (9) を防ぐことがその支援において重要であるといわれている。(8) のアセスメントツールには子ども・青年の症状を評価し学校版と家庭版がある (10)、成人の症状を評価する (11) がある。

【問題5】

あなたが以下の事例のインターカーであるとして、①本事例に限らず、インタークで行うべきインフォームドコンセントの内容、②本事例のインタークで注意すべき点とその理由、③本事例のインタークで聞き取るべき内容とその理由を論じよ。

大学附属の心理臨床センターに A さん (女性, 30 歳代) がインタークのため来所した。インタークを予約する電話で、A さんは出勤時や特定の先輩職員と話す際に動悸や息苦しさを覚えこと、その動悸や息苦しきから勤務に支障が出て苦しんでいることを訴えた。これらの症状について友人に相談したところ、「パニック症ではないか」と言われ、当センターに電話をしてきたことが語られた。

【問題6】

以下の事例を読んで (1) ~ (3) の問題に解答しなさい。

A は 25 才の男性で両親と暮らしていた。1 ヶ月ほど前から不眠となり、食欲は著しく低下した。趣味であった映画鑑賞にも行かなくなり、友人とも連絡を取らなくなった。そして、頻繁に「将来に希望がない」「生きていたくない」と訴えるようになり、心配した両親が精神科を受診させた。医師によりうつ病の診断が行われて希死念慮も確認されたため入院することになった。入院後、薬物療法を 4 週間受けたのち睡眠や (次ページに続く)

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(8 枚のうち 7 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

食欲は回復したが、医師の見立てでは絶望感や希死念慮は残存しており定量的評価は行われていないものの抑うつ症状が残っていると判断された。そこで、病院の公認心理師との心理面接が開始されることになった。公認心理師がAと面接を重ねる中、仕事で大きな失敗をし、同時期に交際相手とも別れたことが明らかになった。また、仕事や趣味を行っても「自分は誰からも好かれない」「周囲の人は自分を無能だと思っているのではないか」「この先、失敗を取り戻すことはできないだろう」という考えが自然に湧き起こって振り払えないという。さらに、物事の判断や自分に対する評価を曖昧にできず白黒つけるように考える二分法的思考があることも明らかになった。そして、このような傾向は、幼少期から「ちょっとした失敗をしたら落伍者になる」、「誰からも好かれ受け入れられるような人間でなければ価値がない」と強く意識して生きてきたことが原因かもしれないという。

現在の生活や興味関心について話し合うと、1日何もやりたいとは思えずベッドの上で1日の大半を過ごしており、他者と話す気力がなく友人の見舞いを断っていると述べた。そして、「何をやっても楽しみが得られないのではないか、友人と会った時にうまく話せずおかしな目で見られてしまうのではないか」といった不安があるという。一方で、何もせずベッドの上で過ごしていると不安を回避できるので少し安心できるが、すぐに絶望感に囚われ強い悲しみが沸き起こるとも話していた。

公認心理師は主治医の許可をとり、Aと合意した上で心理療法を行うことになった。心理療法ではAにとって達成感や喜びの元となる価値を話し合い価値に合った行動目標の立案とその実行に伴って得られる快感情の獲得を目指した。そして、回避のパターンを分析して不安の回避に変わる適応的行動の実行を促した。また、日々の行動について記録をとり、活動に伴う快感情や抑うつ気分の変動の評価をホームワークとした。

(1) Beck.Aの抑うつスキーマ理論に当てはめて、Aの抑うつがどのように説明できるかを述べよ

(2) 公認心理師がAに対して行った心理療法の技法の名称となぜこの技法が選択されたと考えられるかを述べよ

(3) Aのうつ症状は診察や面接を通して得られた言語報告と行動観察によってアセスメントされている。症状改善の程度を評価するアセスメントにおいて本事例に欠けている側面について述べよ

2023年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第2期募集 入学試験問題

(8枚のうち 8枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般・ <input type="checkbox"/> 外国人・ <input type="checkbox"/> 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題7】

臨床心理学の研究法として、実験法・調査法・面接法・観察法がある。いずれの研究法が最良という訳ではなく、どの研究法も短所／注意すべき点がある。上記した4つの研究法の長所および短所／注意すべき点について論じよ。なお、短所／注意すべき点に関しては、その対処法も論じること。解答は下記の表を参考に解答用紙に記述すること。

研究法	長所	短所／注意すべき点
実験法		
調査法		
面接法		
観察法		

2023 年度 2 期金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般 ・ 外国人 ・ 社会人

科目名 公認心理師養成プログラム

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は，その旨を記載願います。】

別紙添付

● 解答例または出題意図

【問題 1】 解答例

日本語訳の例：精神的健康の問題は、しばしば主観的（意識的）な体験と、行動的、生理的な反応を伴う症状の集まりを含んでいる。身体的反応は客観的に測定しやすいため、治療法の開発やその効果を評価する際に重視されるようになった。一方、臨床面接で報告される患者の主観的体験は、しばしば精神病理との相関が弱いとみなされる。主観的な症状が根本的な問題と関連している限り、より客観的な行動的、生理的な症状が適切に治療されれば、問題は解消されると考えられがちである。しかし、不安障害に関する数十年にわたる研究により、行動的および生理的な症状は、一般に想定されているほど主観的体験と強い相関を示さないことが判明している。さらに、精神病理の指標となるより客観的な症状を用いて開発された治療法は、そのほとんどが効果を期待外れであった。

【問題 2】 出題意図

本学の公認心理師養成プログラムでは、「科学者—実践者モデル」を基本とし、臨床心理学的な問題について研究を実施することでエビデンスを提示し、そのエビデンスに基づき実践ができる学生の養成を目標としている。そのため、本問題は、引用数が高い学術論文の結果を読み取れるかどうかを問う問題である。

【問題 3】 解答例

- (1 ストレス脆弱性モデル or 素因ストレスモデル) では生物学的要因や幼少期からの経験などで形成された素質を持つ個人が心理社会的ストレスに曝されることで精神疾患を発症すると説明する
- 海馬や帯状回、(2 扁桃核) を含む構造から成り立ち、感情や感覚情報の処理において重要な中継地として位置付けられる皮質下の脳構造を示す概念の一つを辺縁系という
- Mower.O によって提唱された学習の二要因説（あるいは二過程理論）では、レスポナント条件づけによって無条件刺激に先行する中性刺激が条件刺激に変化し、条件刺激からの回避に伴う恐怖の消失によって回避が (3 強化) されると説明する
- 複数の行動の中から特定の行動を増やし、その他の行動を減らすことを目的とした手続きを (4 分化強化) という
Teasdale.J は、抑うつが生じた際に活性化される (5 認知処理) によってさらに抑うつが増強されると説明した
- 認知行動療法の技法の一つでクライアントが自分の思考や信念の妥当性を明らかにするために実際に現実世界で検証を行う手続きを (6 行動実験) という
- 研究デザインや実施方法などの特定の要因によって測定データに偏りが生じることを (7 系統誤差 or バイアス) という
- (8 長期増強 or Long-term potentiation) は 2 つの神経細胞間の信号伝達が持続的に向上することを意味し、長期記憶の形成に関わる現象である
- Nolen-Hoeksema.S によって提唱され、抑うつ気分に対して (9 反芻) する、あるいは注意を逸らすといった反応と気分の持続性を説明する理論を反応スタイル理論という

【問題 4】 出題意図

本学の公認心理師養成プログラムでは、その実習先に、教育機関や小児医療に関わる医学的な機関などが含まれている。そのため、子どもの発達的な問題に関わる知識を問う内容として、子どもの臨床的な問題と強く関連する発達障害に関わる問題を出題した。

【問題 5】 出題意図

公認心理師の中核的業務は効果的な心理臨床面接の実行である。その心理臨床面接を開始するためには、インテーク面接が必要不可欠である。そのため、本題では、事例問題を通じて基本的なインテーク面接の理解を問う問題を出題した。

【問題 6】 出題意図

- (1) Beck.A の抑うつスキーマ理論ではうつ病者には幼少期からの経験等によって形成された抑うつス

キーマが潜伏しており、抑うつスキーマに合致するストレスイベントによって活性化すると想定している。抑うつスキーマが活性化するとストレスイベントに対する推論の誤りが生じ、ネガティブな自動思考を経験しやすくなる。事例で示されている症状や言語報告を抑うつスキーマ理論に当てはめて説明できることが求められる。

(2) 本事例では活動レベルの低下に対し快感情の減少やストレス場面の予想が伴っている。具体的には、過去に快感情が得られていた趣味に関連する行動が減り、対人場面の忌避のような積極的回避行動や一日中ベッドで過ごすといった消極的回避行動が増加していることに触れている。この快感情を伴う行動の減少と回避行動の増大が絶望感や悲しみ感情を誘発するという悪循環に介入するために行動活性化療法が導入されたことを説明できることが求められる。

(3) 本事例のうつ病症状の評価は定量的評価を欠いている。言語報告や行動観察は重要なアセスメント方法だがその評価は観察者の主観的判断にある程度依存するため、うつ病症状を包括的に評価することができない場合がある。また、言語報告や行動観察の評価は標準化されていないため、健常者と比較してどの程度の違いがあるのか、うつ症状は軽度か重度かを判断することも難しい。これらの点に触れており、定量的データに基づく評価方法の必要性を説明できることが求められる。

【問題7】出題意図

公認心理師は科学者－実践家モデル (scientist-practitioner model) に基づき業務を行う必要がある。臨床現場で研究を実施するためには、多様な研究法を理解しておく必要がある。そのため、基本的な研究法に関する長所と短所／注意すべき点に関する知識を出題した。